

日本に寄り添いボランティア文化を  
仙台敬老奉仕会

# 宮城県 富谷市の 先進的な成功事例に学ぶ 介護施設と地域の支え合いモデル事業

テキストブック



仙台敬老奉仕会 東京分教場

NPO法人CIMネット

## 東京分教場 テキスト作成に寄せて

NPO法人CIMネットは、仙台敬老奉仕会の寄り添いボランティアの活動に深い共感を抱いて参りましたが、此の度、東京首都圏でも寄り添いボランティア活動を実践し、伝播していくことを目的に、東京分教場を開講させていただきました。

また、仙台敬老奉仕会が長年にわたって積み上げてこられた活動を、初めて地方自治体の活動として、宮城県富谷市が取り組まれた成功事例にも背中を押されました。

**2005年の介護保険法で、地域包括ケアシステムという地域完結型の医療・介護・福祉の枠組みが作られました。**

**住み慣れた地域で、安心して生涯を全うするためのスキームです。**

**自助・共助（互助）・公助と親和融合させながら最期まで安心して暮らせる住環境の理念であり、その土地の文化の創出であると理解しております。**

吉永先生が長年実践されている寄り添いボランティアは、まさにこの基本理念、根本精神の実践する活動であります。

世界に類を見ない我が国の少子高齢化社会においてこそ必要不可欠のものであり、日本にボランティア文化を根付かせることが重要と痛感しております。

2019年、富谷市長の英断で、「地域と施設の支え合いモデル事業」として立ち上げられた「とみサポこころね」の事業は、まさに地方にボランティア文化を創出し、根付かせる実践活動です…

このテキストは、第1部が仙台敬老奉仕会の吉永馨先生が寄り添いボランティアの活動理念を語られた『超高齢化社会を乗り切ろう』の講演と第2部が富谷市社会福祉協議会事務局長の安積春美様にまとめていただいた『とみサポこころね』、第3部はCIMネットのボランティアのある街づくりの3部構成です。

東京分教場の活動は、決して大上段に振りかぶるものではなく、先ずは身近なところから小さな第一歩を踏み出す草の根運動だと心得ております。

何卒、仙台敬老奉仕会・東京分教場の開講に、皆さまのご理解、ご賛同、ご指導を賜りたくよろしくお願ひいたします。

仙台敬老奉仕会 東京分教場 スタッフ一同

# テキストブックは3部構成です

仙台敬老奉仕会の東京分教場の開講にあたり、CIMネットは大きな使命をいただきました。このミッションに応えるため、最初にテキストブックの企画作成に取り組みました。テキストブックは、3部で構成しております。

## 第一部 超高齢化社会を乗り切ろう

元東北大学医学部長 吉永 馨 …… 3

仙台敬老奉仕会は、超高齢社会の課題解決のため、長年にわたって「寄り添いボランティア」を呼びかけ、ボランティアの養成を行い、実践的な活動を継続してこられました。第一部は吉永馨理事長（元東北大学医学部長）のご講演をまとめております。講演内容はこれまでの活動の集大成であり、人生100年時代へのパラダイムシフトの提言です。

## 第二部 富谷市のチャレンジ～富谷市スタイル

富谷市社会福祉協議会事務局長 安積春美 …… 29

宮城県富谷市は仙台敬老奉仕会の呼びかけに呼応し、富谷市と社会福祉協議会、高齢者6施設が一体となり取り組み、市が1999年から積み重ねてきた実績の基盤上に、社会が切望する地域活動の規範を示されました。即ち、地域と施設の支え合い事業「とみサポこころね」（富谷モデル）の構築です。現地リポートを交えて構成しております。

## 第三部 私たちに何ができるか－東京分教場開講の使命 …… 53

東京分教場は1部と2部で紹介した富谷モデルに習って、東京首都圏に富谷モデルをどのように適用し、展開していくかの模索です。本テキストでは、まず第一歩を踏み出すため、マズローの欲求の5段階説を教材として、「とみサポこころね」における寄り添いボランティアの「自己実現」について考察いたしました。仙台敬老奉仕会は、超高齢社会の課題解決のため、長年にわたって「寄り添いボランティア」を呼びかけ、ボランティアの養成を行い、実践的な活動を継続してこられました。この活動を基本に東京分教場は寄り添いボランティアの活動を展開してまいりたいと思います。

1～3部すべてビデオ収録（QRコード）を視聴いただけます。

## 編 集 後 記

吉永馨先生は、「キリストは愛を説き、お釈迦様は慈悲を説かれた」「ノーベル平和賞のマザーテレサは、キリストの愛を実践した人でした」と話されました。

吉永先生はボランティアはその国の文化であると捉えて、「日本にボランティア文化を」と呼びかけ、自ら、「寄り添いボランティア」の実践活動を長く続けてこられました。

先生が執筆された『日本にボランティア文化を』という著書は、2013年(平成25年)に、CIMネットから出版させていただきました。

そして2019年(令和2年)には、宮城県富谷市の取組みも併せて紹介させていただき、増補版として出版させていただきました。

### 社協はわが国の最大のボランティア組織だ

NPOのバイブルといわれるP・F ドラッカー著『非営利活動法人の経営(上田敦夫訳/ダイアモンド社)』の「日本版へのまえがき」は次のように始まっている。

「最古の非営利組織は日本にある。日本の寺は自治的だった。もちろん非営利だった。その他にも日本には無数の非営利組織があった。ある分野では日本がいちばん多い。それは産業団体であり、企業間、産業間、対政府の橋渡し役となってきた」

「アメリカ社会を論ずるとき、日本ではアメリカの個人主義を強調する。そして日本のコミュニティにおける絆と対比させる。しかし企業の工場進出に伴いアメリカに住むようになった日本人は、非営利組織におけるボランティアのコミュニティに驚かされる。日本人が職場をコミュニティにしているように、アメリカ人は非営利組織をコミュニティにしている。このアメリカの非営利組織が外国からはなかなか理解されない」

「アメリカ社会では二人に一人が週三時間のボランティアとして働くようになった今日、非営利組織はアメリカ最大の職場と言える。それは市民としての責任をはたしたいというアメリカ人のニーズに応える場でもある」

吉永先生はまた、「国の品格」という言葉も使われました。確かに、ボランティアは「文化」であり、「国の品格」だと言えるでしょう。

重ねて申し上げます。

何卒、仙台敬老奉仕会・東京分教場の開講に、皆さまのご理解、ご賛同、ご指導を賜りたくよろしくお願ひいたします。

### 問い合わせ先

● NPO 法人 仙台敬老奉仕会

〒980-0801 仙台市青葉区木町通2丁目5-18 大熊ビル3階

TEL:022-725-7284

● 東京連絡事務所 NPO 法人 CIM ネット

〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-28-14 飯田ビル

TEL:03-6280-3811 FAX:03-3553-0757

## 宮城県富谷市の先進的な成功事例に学ぶ テキストブック

<非売品>

2022年（令和4年）7月26日 第1刷発行

2022年（令和4年）10月20日 第2刷発行

2022年（令和4年）12月20日 第3刷発行

[発行者] NPO 法人 仙台敬老奉仕会 東京分教場

[発行所] NPO 法人 CIM ネット

〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-28-14 飯田ビル

TEL:03-6280-3811 FAX:03-3553-0757

[印 刷] 株式会社キタジマ